



平成 28 年 12 月 16 日

各 位

会社名 株式会社 トーカン
 代表者名 代表取締役 執行役員社長
 永津 嘉人
 (コード番号：7648 名証2部)
 問合せ先 取締役 専務執行役員
 神谷 亨
 TEL 052-671-2915

(訂正・数値データ訂正)
 「平成 28 年 9 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成 28 年 11 月 11 日に発表しました「平成 28 年 9 月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、下記のとおり訂正いたします。また、数値データにも訂正がありましたので、訂正後の数値データも送信いたします。

記

1. 訂正の理由

「平成 28 年 9 月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容について一部に誤りがあることが判明しましたので、これを訂正いたします。なお、本件訂正による「営業活動によるキャッシュ・フロー」等の連結キャッシュ・フローの状況への影響はございません。

2. 訂正の内容(訂正箇所には下線を付しております。)

添付資料 14 ページ 5. 連結財務諸表(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 前連結会計年度【訂正前】

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 平成26年10月1日 至 平成27年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
～(略)～		
雑収入	△303,799	△229,147
固定資産売却損益(△は益)	△1,320	△3,505
固定資産除却損	26,397	56,777
売上債権の増減額(△は増加)	△1,869,110	△43,933
たな卸資産の増減額(△は増加)	△820,804	△391,476
仕入債務の増減額(△は減少)	3,960,242	951,846
未収入金の増減額(△は増加)	△1,332,247	△152,604
未払金の増減額(△は減少)	414,537	△24,793
その他の資産の増減額(△は増加)	△8,915	37,842
その他の負債の増減額(△は減少)	△135,852	△19,579
その他	48,921	42,896
小計	<u>1,943,268</u>	2,550,022
利息及び配当金の受取額	108,567	130,354
不動産賃貸料の受取額	146,562	180,362
雑収入の受取額	<u>310,122</u>	235,290
利息の支払額	△6,386	△6,254
法人税等の支払額	△296,840	△745,807
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,205,293	2,343,967

【訂正後】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成26年10月1日 至 平成27年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
～ (略) ～		
雑収入	△205,974	△229,147
固定資産売却損益 (△は益)	△1,320	△3,505
固定資産除却損	26,397	56,777
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,869,110	△43,933
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△820,804	△391,476
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,960,242	951,846
未収入金の増減額 (△は増加)	△1,332,247	△152,604
未払金の増減額 (△は減少)	414,537	△24,793
その他の資産の増減額 (△は増加)	△8,915	37,842
その他の負債の増減額 (△は減少)	△135,852	△19,579
その他	48,921	42,896
小計	2,041,092	2,550,022
利息及び配当金の受取額	108,567	130,354
不動産賃貸料の受取額	146,562	180,362
雑収入の受取額	212,298	235,290
利息の支払額	△6,386	△6,254
法人税等の支払額	△296,840	△745,807
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,205,293	2,343,967

添付資料17ページ 5. 連結財務諸表 (連結財務諸表に関する注記事項) (表示方法の変更)

【訂正前】

(連結キャッシュ・フロー計算書)

「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)」及び「退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)」は、金額的重要性が乏しくなったため、「退職給付に係る資産負債の増減額 (△は減少)」に含めて表示しております。

この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において「退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)」に表示していた△4,349千円及び「退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)」に表示していた△6,587千円は「退職給付に係る資産負債の増減額 (△は減少)」に組替えております。

【訂正後】

連結損益計算書の表示方法の変更に記載の通り、当連結会計年度より、従来、営業外収益「その他」として処理していた内容のうち、本業とみなされる収入について「売上高」として表示することとしました。

この表示方法の変更に伴い、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「雑収入」が97,824千円増加し、「雑収入の受取額」が同額減少しております。

また、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)」及び「退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)」は、金額的重要性が乏しくなったため、「退職給付に係る資産負債の増減額 (△は減少)」に含めて表示しております。

この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において「退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)」に表示していた△4,349千円及び「退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)」に表示していた△6,587千円は「退職給付に係る資産負債の増減額 (△は減少)」に組替えております。

以上